

「不動心を心掛け、横綱の品格、力量の向上に努めます」



伝達式で口上を述べる、第73代横綱となった照ノ富士(右中央)。右奥は伊勢ヶ浜親方＝21日午前、東京都江東区の伊勢ヶ浜部屋(代表撮影)

鳥取城北高出身で初 県関係、琴桜以来48年ぶり

照ノ富士 春雄(てのふじ・はるお)本名ガントルガ・ガエルデネ・モンゴル・ウランバートル出身、伊勢ヶ浜部屋。相撲留学した鳥取城北高から間垣部屋に入門し、11年5月の技量審査場所初土俵。部屋閉鎖のため13年に移籍。14年春場所新入幕。15年名古屋場所新大関。17年九州場所で大関に転落。5場所連続休場後の19年春場所に序二段で復帰。再入幕の20年7月場所まで幕尻優勝。今年夏場所まで21場所ぶりに大関復帰。優勝4回。殊勲賞3回、敢闘賞3回、技能賞3回。得意は右四つ、寄り。192センチ、177キロ。29歳。

協会と同じ伊勢ヶ浜一門の高島理事(元関脇高望山)と浅香山審判委員(元大関魁皇)となる。

新横綱の誕生は2017年初場所後の稀勢の里以来4年半ぶり、令和では初めて。モンゴル出身力士として5人目の最高位となった。鳥取城北高出身の力士で大相撲最高位に上り詰めたのは初めて。鳥取県関係では、倉吉市出身の第53代横綱琴桜以来48年ぶりとなる。

日本相撲協会は21日午前、東京都内で大相撲秋場所(9月12日初日・両国国技館)の番付編成会議と臨時理事会を開き、鳥取城北高出身の照ノ富士(29)＝本名ガントルガ・ガエルデネ、モンゴル出身、伊勢ヶ浜部屋Ⅱの第73代横綱昇進を正式に決めた。

を江東区の伊勢ヶ浜部屋に使者として派遣し、昇進を伝達。照ノ富士は決意を示す口上で「謹んでお受け致します。不動心を心掛け、横綱の品格、力量の向上に努めます」と述べた。

5月の夏場所まで2場所連続優勝していた照ノ富士は、18日の名古屋場所千秋楽で白鵬との全勝対決に敗れたが、14勝1敗の好成績を収めた。19日の横綱審議委員会、全会一致により横綱に推薦された。両膝の負傷や内臓疾患の影響で、大関から序二段まで落ちながら復活し、夏場所で大関へ返り咲いていた。秋場所は白鵬と合わせ2横綱となる。

横綱照ノ富士誕生